

委員長報告、派遣役員報告

■インターアクト委員会 副委員長 鯨井 達生

10月26日(日)13:00~15:00頃、埼玉栄高等学校及び JR 西大宮駅周辺で「西大宮ハロウィンウォーク」というイベントが開催されます。時間があればお越しください。

■円谷 友香会員

「大宮駅開業140周年記念 大宮駅こども書道展」への当クラブの協賛が、審議の結果、正式に決定いたしましたことをご報告いたします。

様々なご意見をいただいた中での決定ではございますが、「超我的奉仕」を掲げるロータリークラブとして、大宮の街と未来を担う子どもたちの育成に貢献できる大変意義深い事業として、ご理解を頂けないかと思っております。ご協力の決定に、心より感謝申し上げます。

事業の概要を述べますと、元会員である筑波大宮元駅長様よりご尽力をいただきました。場所は、JR 大宮駅西口ステンドグラス前です。大宮駅開業140周年を記念し、こちらに、さいたま市大宮区の小学校を対象に選抜した力作100点を展示いたします。作品は、「電車」「大宮駅」「輝く未来」「鉄道の街」です。「鉄道の街大宮」をテーマとした課題となっています。駅より3日間スペースをご提供いたします。

この事業は、クラブの公共イメージの向上と地域社会への奉仕という大きな成果をもたらしますが、皆様のご協力なくしては成功しません。つきましては、次の項目への温かいご協力をお願いいたします。

①賞の選定をお願い

心の動く作品に一票を投じてください。

10月20日(月)の例会にて、選抜10作品を会場に展示し、「大宮西ロータリークラブ会長賞」など各賞を決定するための投票を実施いたします。会場入口に展示致します。よく書けている、その子の個性がでていると思う作品の下に紙にカラーシールの貼付けをお願いいたします。票が多いものから、大宮西ロータリークラブ会長賞1点・大宮西ロータリークラブ賞4点を決定して参ります。

②現場での協力(労力)をお願い

11月23日(日)、24日(月、前日祝日振替)、25日(火)の搬入搬出、設営、および展示期間中の監視・受付にご協力いただける方を募集いたします。可能な範囲でのお力添えをお願いいたします。大切な子供達の作品が損なわないよう、見守りを頂きたいのです。会場には椅子も用意いたします。ご無理なく作品を見守って頂きたいです。ある展覧会で、作品の破損を目にしたことがあります。お子様達の夢が傷つくことのないよう、大切に取扱い頂きたいとお願い申し上げます。

・次回の例会にて、タイムスケジュールを作品投票パネルに掲示いたします。無理なくご協力頂けるお時間がございましたら、その枠にお名前を記入してください。

③ご協賛をお願い

当クラブからは協賛金を通じて「大宮西ロータリークラブ会長賞」「大宮西ロータリークラブ賞」を授与いたします。また、本事業のパネル・看板・チラシ、さらには大宮区小学校の学校便りにも、当クラブの活動を広く周知いたします。

子どもたちの才能と個性を育むこの活動は、地域の活性化、そして何より当クラブの社会貢献活動を街の皆様に広く周知する貴重な機会となります。



皆様と共に、この記念すべき事業を成功させ、大宮の街を心豊かな街にできると確信しております。皆様の温かいご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。

青少年交換学生お小遣い支給及び近況報告

■カウンセラー 齊藤 敏雄よりエミリアンくんへ支給 マンスリーレポートをご紹介

ミミくんの報告

・私はクラスの人たちととても仲良く、日本人の友達もできた
・私はホストファミリーととても仲良くして、とても楽しいです。彼らは親切で、楽しくて、いつも私を助けていてと思っています。私は彼らをもっと助けていてと思っていますが、私が提案すると、彼らは私にノーと言います

ホストファミリー横田様のご報告

健康状態 概ね良好

通学・勉強 自分の部屋で日本語参考書での勉強。ホストファミリーとの会話を通じた日本語勉強。月曜と木曜日に青少年交換委員会主催・日本語学校での勉強。

その他 ハードロックが大好きでいつも家族が聞かされておられ、だいたい家族もハードロックを覚えるようになりました。常に明るく、家族のムードメーカーになっています

エミリアンくん近況報告

「あなたと会えてとても幸せと伝えたいと思います。さらに勉強することを約束します」



誕生日祝い

大谷 義武 (6日)、
伊田 雄二郎 (12日)、
坂原 一 (13日)、
岡田 勉 (14日)、
吉田 浩士 (14日)、
井田 人志 (21日)、
竹ノ谷 純宏 (22日)、矢尾 喜三郎 (25日) 各会員

代表挨拶 井田 人志会員

50歳になります。2023年の11月に入会しました。今後もソニースピリットでがんばります。



ロータリーの友 解説

■広報・ICT委員会 委員

田部井 創

(横組)

P.3 RI会長メッセージ

10月は「地域社会の経済発展月間」。アレッツォ会長は、持続可能な地域づくりへの支援を呼びかけています。

リーダーシップとは、耳を傾け、協力し、他者の声を広めることでもあると語り、ロータリーの理念の核心に触れています。

P.5 一献を紡いで

酒造技術がユネスコ無形文化遺産に登録され、海外でも日本酒人気が高まる一方、酒蔵の減少が進んでいます。

川越RC五十嵐昭洋氏は、地元の酒文化を復活させた立役者。家業の酒造りを背景に、地域の伝統を守る活動が紹介されています。

P.15 よねやまだより

10月は米山月間。P16では第6代よねやま親善大使3名が紹介されています。卓話などで親善大使を招くことで、米山への理解と関心を深めるきっかけになります。

P.24 台北国際大会に向けて

台北が国際大会にふさわしい理由を探る旅の様子が紹介されています。

文化や人の魅力に触れ、世界大会への関心を高める内容

